

講義名称	マスメディアの英語	担当教員名	小林 俊哉
科目群	英語 (ENG)		
科目区分等	実用英語 CA6 DI4	単 位	2
対象学年次	1年・秋学期	ナンバリング	ENG131

授業のキーワード	マスメディア、情報、グローバルな視野
授業の概要	マスメディアで使われる英語こそが、最新の生きた英語。激動する世界を活写するメディア情報を素材に英語を学習することにより時事情勢の理解も進み、英語力養成との一挙両得を目指します。
期待される学習成果 (目標)	1. 英語によるメディア情報が理解できるようになります。 2. 英語メディアに関する知識が修得できます。 3. あふれるような情報の中から、真に必要な情報を選択できるようになります。

授業展開		
回	テーマ	内 容
1	導入	英語メディアに頻出する英語の特質について説明します。
2	英語メディアの基本	前講に引き続き、英語メディアの基本について説明します。
3	新聞ヘッドライン	新聞英語の概略、さらにヘッドライン表現について学びます。
4	記事リード文	記事の書き出し部分であるリード文の読み方について学びます。
5	記事リード文	前講に引き続き、リード文を多読、速読します。
6	第1回確認試験、文通作業	ここまで学んだ事項を確認するための試験を実施します。その後文通作業を開始します。
7	新聞フロントページ	アメリカ主要新聞の最新フロントページの読み方を学びます。
8	新聞フロントページ	地方小規模新聞も視野に入れながら、新聞フロントページを読み進みます。
9	長文記事	ある程度の長さを持つ記事を読み、その概略をつかみながらの正確な読解法を学びます。
10	長文記事	前講とはジャンルの異なる長文記事を読みます。
11	第2回確認試験	ここまで学んだ事項を確認するための試験を実施します。
12	ニュース週刊誌	タイム誌、ニューズウィーク誌などに掲載される記事を読みます。
13	新聞漫画	アメリカの新聞日曜版の名物でもある新聞漫画の世界をのぞきます。
14	社説・論説	ある立場を表明する社説やニュース分析をする論説を読みます。
15	社説・論説	前講に引き続き、興味深いテーマを扱う社説や論説を読みます。

定期試験	期末課題の提出を、期末試験に代替します。
授業時間外学習	1～5週→メディア英語の基本に慣れる。6～10週→指定記事の予習と復習をする。11～15週→授業内作業の補完作業、期末課題の準備をする。
評価方法	確認試験各25% (計50%)、文通記録20%、期末課題30%
使用する教科書 (必ず購入してください)	使用する資料はすべて配付します。
参考文献	